㊇埋もれし天才か？ 埋もれし馬鹿か？ 小林ノリカズ、久々に初登場!!

青春の汗は苦いぜ

小林のりかず

昭和26年、東京に生まれる。デビュー作「青春の汗は苦いぜ」('79・11月号)。現在、ビデオ・パフォーマンスなどで活躍中。

つぎの日も
やっぱりふつうで
ただあたりまえに
いたずらに
ヒヤケだけが
進行していた。

HERO OF THE BEACH

キャー

わー
好いたらしい
ひと

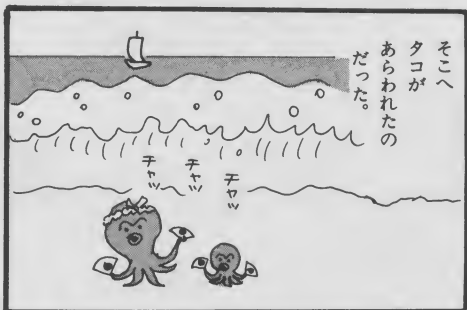
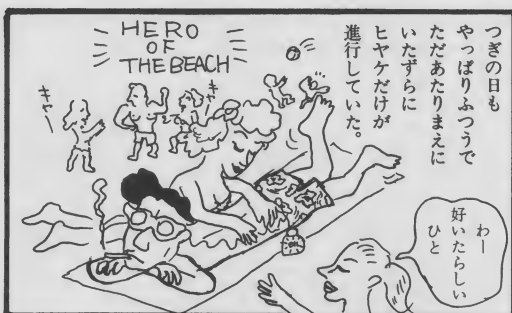
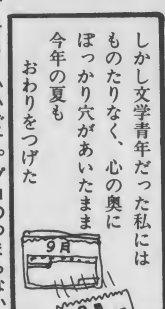
しかしやはりみたされぬまま夏がすぎていくのだった

いろんなおもしろいことがあんすよ~

わっ牧野周一だね

夕陽に向って

バカヤロー

と声をはりあげてもみた

編集部でいい、と思った作品はバンバンのせて、プロのまんが家でもつまらないのを書く人には原稿依頼をヤメて、密度を濃くするといいです。プロのつまらないのはほんとにしょうがない。

会社に戻ってもとても仕事をする気になれなかった

毎日仕事もせず寸評をした。答は常に「虚無」であった。文学青年だった私には不満な日常がくりかえされた

すべてがたえがたいまでにふつーだった。

私は ともすればだせいに流れがちなおまんこをしながら

あのタコはどうしてるだろう

と思った

うわっ うわっ

タコに手紙を書いた無論住所も知らないただそうせずにいられなかった。そうすることが私の生きる証しだった。

くれもおしせまったころタコからおせいぼがとどいた。

同封の手紙は古代タコ語で難解なものだった。しかし義理人情の厚い彼らの心が行間から読みとれた涙がほおをつたうのがわかった

さっそくいただいた味の素のつめあわせセットのハイミーでおせち料理をつくってみた なるほどふればふるほど料理の味がさえるのだった

ときどき さびしくなるとタコのことを思い出して顔まねをしてみたり、ふとそんな自分がいとおしくなって笑ってしまった。私の青春はおわった。

せき声・のどにあさだあめ

むずかしいな

待望の初孫が生まれたという写真入りの手紙が来たのは皇后陛下のお誕生日の頃だった。孫も芸達者ですと相好をくずし好々や然としたタコの顔が目に見えるようだった。カエルのコはカエルだなあなどと人並みに思い、鏡の自分に「そろそろ身をかためようか」と声出して語りかけた。うららかな春であった

END